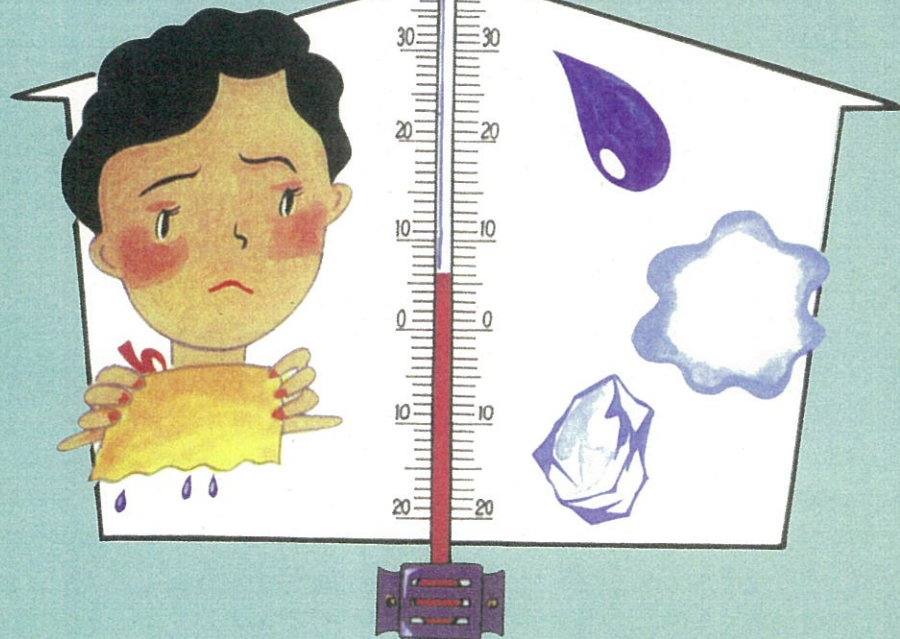


ご存知ですか？

# 結露



横浜市建築局市営住宅課

●●● はじめに ●●●

横浜市では、みなさまに住みよい市営住宅を供給できるように市営住宅の設備や維持管理に努めております。

市営住宅は建物の構造や建具等の性能から機密性が高くなっておりますので、窓を開ける等の換気をしないと結露やカビなどが発生する恐れがあります。

結露は、部屋の中の空気の温度と湿度の関係が原因となって発生しますので、住んでいる人の生活や住まい方に大きく左右されます。

市営住宅でもこのような結露の発生がみられるようになりましたので、結露を防ぐために知っておいていただきたい事項をパンフレットにまとめてみました。ぜひ、これをお読みになっていただき、住まいの中から結露を追放し、快適な暮らしを送られるようお願いいたします。

## 結露とは

結露とは、暖かい空気に含まれている水蒸気が、冷やされて気体の状態ではなくなり、窓や壁などの冷たい部分に水滴となって現れる現象のことです。

コップに冷たいビールを注いだときにコップの表面につく水滴や、冬、窓ガラスに息を吹きかけると細かい水滴がついて曇ったような状態になりますが、これも結露現象のひとつです。

結露を起こすと、壁や天井が汚れるだけでなく、カビが発生したり、時には、下の階のお宅の天井にまで水滴がしたたり落ちて、被害が広がって行くこともあります。



# 結露の起りやすいところ

## 空気の流れにくいところ

押し入れの中や家具の裏側などは、湿った空気が溜まりやすい場所です。お天気の良い日には、部屋の窓を開けたり、たまには家具を動かして、空気の流通を良くしましょう。



## 水蒸気がたくさん発生するところ

浴室や台所は、使っているときはもちろん、その前後でも水蒸気が発生していますので、使った後も少しのあいだ換気をしてください。

## 水蒸気がたくさん発生するもの

ヤカン、湯沸器、加湿器などももちろんですが、洗濯物、植木、煙突のない石油ストーブやガス・ストーブからもかなりの水蒸気が発生します。

## 冷えやすいところ

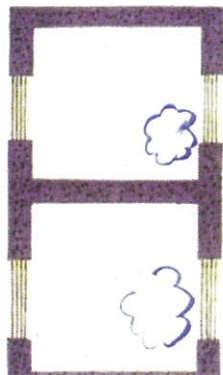
北側の居室、便所、玄関等は日当たりも悪く、冬期は特に冷えるため、結露が発生しやすくなりますので、換気をこころがけてください。

# 結露を防ぐには

## 空気の入れ替えをしましょう

市営住宅のようなコンクリート造の建物は、気密性が非常に高いため、隙間風がなく暖かいたのですが、同時に部屋の水蒸気も外に出にくくなっています。従って、結露のない生活を送るためには、意識して室内の汚れた空気と外の乾燥した空気とを入れ替えることが必要です。閉めきったままの室内の空気は、生活していると汚れがちになりますので、1年を通して、外の新鮮な空気を取り入れることは、健康のためにも大切なことです。

コンクリート造住宅



木造住宅



## 水蒸気の発生を少なくしましょう

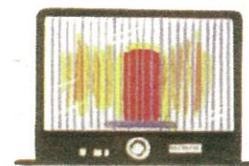
コンクリート造の住宅は、前にも述べましたように、極めて気密性が高いため、室内で発生した水蒸気は外に出にくくなっています。そのため、木造住宅の時と同じ生活をしていると、結露を起こす恐れがあります。従って、普段の生活の中で、水蒸気の発生を出来るだけ少なくすることが大切です。

- ◎発生した水蒸気は、換気扇などを利用して外に出すように心がけてください。
- ◎洗濯物を室内に干すときには、よく脱水してから干してください。
- ◎炊事中には、換気扇を回すよう心がけましょう。



## ご存知ですか

1時間あたり  
牛乳ビン2本分(約400cc)



ストーブ

1時間あたり  
牛乳ビン6.5本分(約1,300cc)



ふっとうしたヤカン

1時間あたり  
牛乳ビン2本分(約400cc)



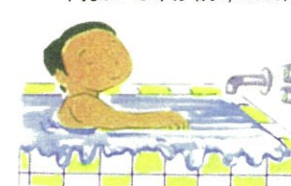
加湿器

1時間あたり  
牛乳ビン5本分(約1,000cc)



調理

1時間あたり  
牛乳ビン5本分(約1,000cc)



浴槽

## 部屋のドアを開けましょう

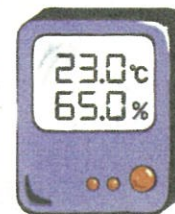
結露は、各部屋の温度の違いが大きいほど起きやすいので、冬でも陽がさして暖かい昼間は、住宅内部を開放して空気の流通をよくし、各部屋の温度のむらをなくして、寒い部屋をつくらないようにしましょう。



## 室内の温度・湿度に気をつけましょう

室温23℃の時湿度65%、室温7℃の時湿度70%は結露発生の赤信号です。温度・湿度に気を使って、結露の起きない快適な室内環境をつくりましょう。

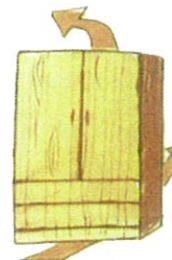
洗濯物を室内に干しているご家庭では、特に湿度が高くなりがちです。換気に注意しましょう。



## 室内の空気の流れを良くしましょう

タンス等の家具は、壁から少しはなして、空気の流れを良くしましょう。この場合、地震等の転倒防止措置も必要です。

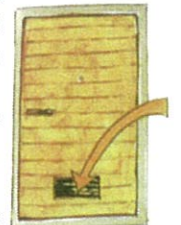
押し入れも昼間は開け放し、ふとんも詰め過ぎないように気をつけましょう。



## 昼間不在がちなお宅での注意

昼間不在がちなお宅では、部屋の温度が下がりますので、結露が発生しやすくなります。そこで、つぎのことにご注意ください。

部屋の中に、洗濯物を長時間干したまま外出すると、結露の思うつぼです。帰宅したらまず最初に、部屋の窓等を開けて空気の入替えを行い、乾燥した空気を部屋の中に入れてから暖房をするようにしてください。



# 結露が起ったら

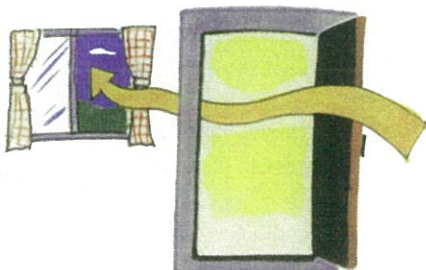
## 結露を見つけたら まず拭き取りましょう

たとえ結露が発生していても、こまめに拭き取ってれば、壁や床が汚れたりカビが発生したりする被害を最小限に抑えることができます。



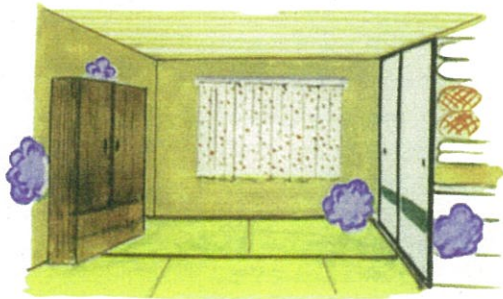
## 空気の流れを良くし、 部屋全体を乾燥させましょう

拭き取りが終わったら、結露の原因を取り除かなければなりません。そのためには、部屋全体の空気の流れを良くし、十分に換気を行って、部屋全体を乾燥させることが大切です。



## 結露が発生したら、何日間か続けて、 拭きとり・乾燥を続けましょう

一度結露を起こした部屋では、結露が発生した部分だけでなく、部屋全体のあらゆるところに目に見えない状態で水蒸気が潜んでいます。したがって、部屋の空気を一度や二度入れ替えただけでは、結露は止まりません。何日間か根気よく繰り返して部屋の換気を行い、部屋の中の湿気を外に出してやらなければなりません。



## カビが発生したらどうするか

結露がひどくなると、カビが発生しはじめることがあります。一度カビが発生するとドンドン広がっていきます。したがって、カビの発生に気が付いたらできるだけ早く拭き取ってください。早いうちなら、特殊な薬品を使わず中性洗剤で落とすことができます。カビ取り専用の薬品は壁の材質等によっては、かえって痛めることにもなりますので、購入する店でよく相談してから使用してください。



これまでの説明で、結露の発生や発生した場合の対応の仕方について、ご理解いただけたものと思います。ぜひ、このパンフレットに書かれている住まいのルールをよく守り、住宅の中から結露を追放していただきたいと思います。

結露による壁などの汚れ・破損など修繕は、入居者の負担で直していただくこととなりますのでご注意ください。

横浜市では、今後も、より一層快適な市営住宅づくりを心がけてまいりますので、入居される皆様も、市民の大切な財産である市営住宅で、結露のない、快適な生活を過ごされるようお願いいたします。

横浜市 建築局市営住宅課  
〒231-0012 横浜市中区相生町3丁目56番1号  
JNビル4階

横浜市住宅供給公社 管理事業部市営住宅課  
〒221-0052 横浜市中区栄町8番地1  
ヨコハマポートサイドビル6階